

05 群臨技発 第 17 号

令和 5 年 8 月 2 日

一都八県 臨床検査技師会 会長各位

一般社団法人 群馬県臨床検査技師会
会長 井田 伸



群馬県臨床検査技師会輸血研修会への協力依頼

謹啓 晩夏の候、貴会におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は当会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当会は臨床検査技師の学術及び技術の向上を目的として学術研修会を定期的を開催しております。その一環として、このたび下記の要領で輸血研修会を開催する運びとなりました。

つきましては、当会の開催趣旨をご理解いただき、下記の研修会に御協力賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 研修会名：群馬県臨床検査技師会輸血研修会
2. テーマ：「宗教的理由による輸血拒否の考え方」
3. 開催日時：令和 5 年 10 月 12 日（木）18：30～20：00
4. 会場：オンライン研修
5. 協力内容：東京都臨床検査技師会のオンラインツール利用及び会員への研修会周知
6. 主催：一般社団法人 群馬県臨床検査技師会

以上

【担当者】

一般社団法人 群馬県臨床検査技師会
輸血検査研究班 班長 北爪 洋介

JCHO 群馬中央病院

TEL：027-221-8165

E-Mail：yuketsugunma1@gmail.com

研修会内容

研修会名	群馬県臨床検査技師会輸血研修会
研修の目的 及び申請理由	<p>本研修は、無輸血患者の「倫理的配慮」について学ぶ研修になります。輸血療法において宗教的な理由で無輸血を希望する患者の対応は、医療機関の方針によって異なります。特に相対的無輸血の医療機関においては、自己血の考え方や転院先の紹介などで担当医から輸血担当の検査技師に相談する事例があります。当県では、輸血研究班の研修会の一つとしてエホバの証人医療機関連絡委員会の方を講師としてお招きし「無輸血治療を希望する考え方」について開催した経緯があります。現在、無輸血医療に対し社会的関心が高まっていることから当県で再び研修会を開催する運びとなりました。輸血拒否患者への対応はどの医療機関も悩まれるところであり、多くの会員の方々にその知識を得てもらいたいと考えました。研修会では、無輸血に対する知識を学び、また、各都県の医療機関連絡委員会（エホバの証人の医療機関窓口担当）の情報も得ることができます。</p> <p>つきましては、本研修会の趣旨にご理解いただき会員の皆様に周知していただきたくお願い申し上げます。</p> <p>本研修会の開催にあたり、講師からは講師謝礼辞退の申出をいただいておりますが、本研修会は輸血医療に携わる臨床検査技師が知識を学ぶためのものであり、それ以外の目的はございません。また、主催者である群馬県臨床検査技師会は宗教団体との関係はないことを申し添えます。</p>
主催者等	<p>(主催) 群馬県臨床検査技師会</p> <p>(協力) 東京都臨床検査技師会、千葉県臨床検査技師会、神奈川県臨床検査技師会、埼玉県臨床検査技師会、茨城県臨床検査技師会、栃木県臨床検査技師会、長野県臨床検査技師会、山梨県臨床検査技師会</p>
研修内容	宗教的理由による輸血拒否の考え方
開催日時	令和5年10月12日(木) 18:30~20:00
開催場所	オンライン研修
講師	エホバの証人医療機関連絡委員会 前橋委員会 高野 博文 先生
参加費	無料
申込方法	日臨技事前参加申込システムを利用予定